

～高校生防災・減災未来フォーラム2021～

日時

令和4年3月12日(土)9:30～16:00

場所

山形県青年の家

対象

県内の高校生 40名程度

内容

ワークショップ

- ①避難所運営の実際と教訓
- ②災害初動期からの対応

【講師】

311いのちを守る教育研修機構協力研究員
東北大学非常勤講師
元宮城県石巻西高校校長
齋藤 幸男 氏

講演

「災害時、何が必要か？」

【講師】

県防災くらし安心部
防災危機管理課
防災教育推進主幹
古川 昭彦 氏

若者からのメッセージ(提言)

「災間を生きる者として～命と向き合い、いのちをつなぐ防災～」

申込

別紙申込書に記入のうえ、2月25日(金)までFAXまたはメールで申し込んでください。

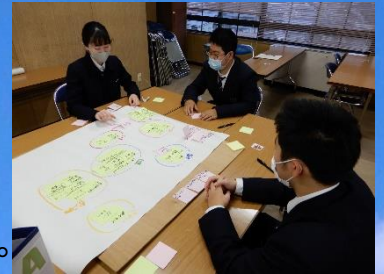
参加料

490円(昼食代、保険料)

持ち物

筆記用具、内履き

※新型コロナウイルス感染対策については要項をご覧ください。



<講師の御紹介>

齋藤 幸男 氏

2011年3月11日の東日本大震災発生時に石巻西高校の教頭として避難所運営にあたる。当時の石巻西高校は正式な指定避難所ではなかったが、人道的な立場から教職員だけで44日間の避難所運営を行った。体育館は遺体仮安置所・検視所となり、校舎を開放して地域住民の避難生活を支援した。さらに、11名の生徒が震災の犠牲になるなかで、教職員は生徒に寄り添い続け、生徒はともに支え合いながら学校の教育活動を再開していった。2012年に同校の校長になり、震災の教訓を語り継ぐ活動を通して「いのちと向き合う教育」の大切さを訴えている。

古川 昭彦 氏

33年間の陸上自衛官生活で34回の災害派遣を経験したのち、早期退職制度により山形県庁に入庁。平成30年の北海道胆振東部地震で厚真町において避難所運営支援や建物の被害認定調査、令和元年東日本台風では宮城県角田市で災害ごみの処理支援などを実施した。

現在、災害現場での活動経験などを活かし、各種防災教育、出前講座などを通じて自助・共助の重要性についての普及啓発活動を実施している。

主催 山形県青年の家 協力 山形県防災くらし安心部防災危機管理課

<問い合わせ> 山形県青年の家研修課 山形県天童市小路1-7-8 TEL: 023-654-4545